

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 509

事務事業名	中学校体育大会開催事業(市中総体)	
基本目標	010202	人を育むまち
政策		豊かな学力と生きる力を育む教育の充実
施策		小・中学校教育の充実
関連施策		

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	学校教育課		
課長名	丹野平三	内線	365
担当者名	坂田幸広	内線	376

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

会計	一般会計	
款	10	教育費
項	01	教育総務費
目	02	事務局費
事業コード	110000	

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市内中学校の各運動部活動部員		
意図 対象をどのような状態にしたいか	教育活動の一環としてとらえ、各種大会を通じて体育の振興や生涯にわたってスポーツに親しむための基礎づくりとする。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	市内中学生の体育や部活動の充実・発展及び心身の健全な発達等を図るため、各種体育大会(中学校総合体育大会・駅伝大会・新人大会)の開催を、中学校体育連盟に委託している。		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法 委託
根拠法令、要綱等	学校教育法施行規則第53条 学習指導要領		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標 ①	中学生運動部活動入部者数	計画値	2,138	2,168	2,143	2,108	計画値は全生徒数の70%としている。
		実績値	2,183	2,131	2,064		
		達成度	102.1%	98.3%	96.3%		
成果指標 ②		計画値					生徒の体育(部活動を含む)に対して取り組む姿勢により把握する
		実績値					
		達成度	%				
成果指標 ①	学校教育活動の一環として、生徒への体育振興及び心身の健全育成を図る	計画値					生徒の体育(部活動を含む)に対して取り組む姿勢により把握する
		実績値					
		達成度	%				
成果指標 ②		計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	4,851	7,489	4,587	4,830	4,830	4,830	4,830	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	4,851	7,489	4,587	4,830	4,830	4,830	4,830	
② 人件費(千円)	1,699	1,661	1,561	1,454	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	中学校総合体育大会・駅伝大会・新人大会の開催委託	中学校総合体育大会・駅伝大会・新人大会の開催委託	中学校総合体育大会・駅伝大会・新人大会の開催委託	
時間外勤務(時間)	55	75	75	0				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	6,550	9,150	6,148	6,284				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	中学校体育連盟の計画に基づいて、各種体育大会が円滑に実施されている。なお、市駅伝大会は、選手の安全面や応援の保護者への対応、運営の効率化(他市町との共同開催)等の面から今年度より県立総合運動公園(諫早市)にて実施される。
事業が抱える問題・課題等	6月の陸上大会会場(大村市陸上競技場)について、雨天時のグラウンドコンディションによってはレース結果に大きく影響することや手動計時によるミスをさげ、公平な大会運営の実施につとめるため、全天候型陸上競技場への改築希望がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市内中学生の運動部活動に参加している生徒が対象であり、妥当性がある。						
妥当性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	義務教育(中学生)が対象であり関与は妥当である。						
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	日ごろの練習の成果を発揮する場であり、健全な心身の育成に効果を上げている。						
有効性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	生徒にとっては目標となっており、心と体の一体化がおりなす集中力、努力する心が生徒たちに根付いている。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	予算が関係することもあり、慎重に対応していく。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	公平かつ平等な大会運営が可能になる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
意見等			内容			

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。